

Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL

2022（令和4）年度

年次報告書

ANNUAL REPORT
2022 FY

特定非営利活動法人
ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会

私たちからのメッセージ

-新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者や関係者への誹謗中傷について-

現在、世界中の人々が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の危機に直面しています。お亡くなりになった方々とそのご家族に心よりお悔やみ申し上げます。また、現在治療中の方々の一日も早い回復をお祈りすると共に、日々懸命に業務に取り組まれている関係者の皆さまに敬意を表します。

私たちNPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会は、高齢化の進むハンセン病療養所入所者、回復者の皆さんの自らの経験を決して繰り返して欲しくないという強い願いと共に、ハンセン病療養所とそこで生活されてきた人々の歴史を世界遺産として後世に語り継ぐ運動に取り組んでいます。

社会では、しばしば比較されるハンセン病と新型コロナウイルス感染症ですが、両者は原因、発病のメカニズム、症状、治療法の有無など全く異なります。よって、両者を単純に比較することはできませんが、今、ただ一つハンセン病の歴史を語り続けることを使命とする私たちがお伝えしたいことがあります。それは「患者さんや関係者に対する疾病差別は決してあってはならない」ということです。

私たちは誰も病気になりたくありません。そして感染症という病気の原因となる細菌やウイルスは私たちの目には見えません。ヒトからヒトへの感染が明らかになっている新型コロナウイルス感染症において患者と関係者からできるだけ距離をおきたい、という気持ちは十分に理解できます。また、社会的距離の確保や「三密」の回避は、今後も感染の状況に応じて意識し続けるべき行動基準です。

しかし、誤った知識や見解による過度な反応は噂を呼び、偏見を生み、差別につながります。私たちはこれらのことをハンセン病隔離政策から学んでいます。

患者が恐れるのは病気とそれに伴う差別と人権蹂躪です。患者が差別を恐れるがあまり、病気を隠し、今回の感染拡大が更に長期に渡り収束しなければ、私たちの社会的経済的な活動は益々の困難に直面するでしょう。

「歴史は繰り返す」ローマの歴史家クルティウス＝ルーフスは言います。私たち人類には今までも新たな感染症の出現に直面し、その脅威を乗り越えてきた歴史があります。

-患者さんが安心して治療に専念し、家族の方がそれを十分サポートできるように
そして、医療従事者が存分に活躍できるように-

ハンセン病の歴史を学ぶことにより、少しでも病気による偏見や差別が和らぐのであれば非常に有り難くそして私たち一人ひとりが新型コロナウイルス感染症という未知の感染症を正確に知り、正しく行動すればそれに伴う偏見、差別と人権蹂躪を生まない社会の創造に寄与できる。これがハンセン病回復者と私たちからのメッセージです。

2020（令和2）年5月18日

岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253番地

特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会
<https://www.hansen-wh.jp/news/374/>



※ 2020年4月7日、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づき全国7都府県に緊急事態宣言が発出され、4月16日には対象が全国に拡大されました。ワクチン接種は2021年2月17日に始まりました。第4波では2021年5月16日から6月20日まで、デルタ株による第5波では8月27日から9月12日まで、それぞれ岡山県は宣言の対象になりました。オミクロン株による第6波では、2022年1月27日から3月6日まで蔓延防止等重点措置の対象になりました。2022年11月末から2023年1月末のオミクロン株による第8波を経た2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症は感染症法の第5類感染症に移行し、法律による行政の要請や関与の対象から外れ、日々の各都道府県別の感染者数は集計されなくなりました。同日までの岡山県内累計感染者数は49万4212人、お亡くなりになられた方は857人です。

上記メッセージの発表から3年が経過しましたが、この間、関連する差別事例が数多く報道されました。改めて、初の緊急事態宣言発出直後に公開しました私どものメッセージを掲載いたします。



国立療養所長島愛生園 患者上陸場（内白間）

写真上（一部加工）：撮影時期不詳（「収容棧橋」建設の1939（昭和14）年8月以前の撮影と推定）

写真下：2023（令和5）年6月

目次

理事長あいさつ	01
法人概要等	02
事業報告	05
決算報告	15
世界遺産登録に向けたロードマップ進捗管理・ 学術調査報告書（概要版）	19
国立療養所長島愛生園 2022（令和4）年度 悉皆調査報告書（概要版）	73

別紙（A3）

- 別紙① 国立療養所長島愛生園 2022年度悉皆調査（一次調査）成果図
- 別紙② 国立療養所長島愛生園 建物配置図（昭和六年）
- 別紙③ 国立療養所長島愛生園 2022年度悉皆調査（二次調査）成果図
国指定史跡を検討する上で重要性の高い要素（建造物）一覧図

理事長あいさつ

平素は、特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会に多大なるご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。会員の皆様、ご寄付いただいた皆様、そして療養所関係者の皆様のお力添えにより、法人設立6期目の2022（令和4）年度を無事終えることができました。また、私事ではありますが本年4月の理事会にて、令和7年3月末まで引き続き理事長の職を拝命いたしました。本書年次報告書を発行するにあたり、本法人を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

2020（令和2）年1月に国内で初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症に対しては、約3年にわたり緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発令と解除が繰り返されてきましたが、本年5月8日には感染症法の第5類感染症に移行し、国内外の人々の移動は徐々に戻りつつあります。国際的にも、WHO（世界保健機関）は5月5日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言終了を発表しました。一方で、国内の定点あたりの感染者数や入院患者数は全国的に増加傾向であり、引き続き新型コロナウイルス感染症は高齢な方や基礎疾患をお持ちの方への配慮が必要な感染症であることには違いなく、まだまだ「終息」したといえる状況ではありません。

本法人では、新たな感染症への偏見と差別を生み出してはならないと本書表紙裏に掲載しておりますメッセージを2020（令和2）年5月に発表しましたが、新型コロナウイルス感染者や医療従事者、またそのご家族や「密な場所」への誹謗中傷が数多く報道されました。疾病差別や人権問題に対して、ハンセン病の教訓を自分事として具体的に行動できるか、私たちは問われ続けています。

長島愛生園歴史館から、本年度になり見学申込者がコロナ禍前に戻りつつあると伺い、私は去る5月に地元の瀬戸内市立邑久中学校の生徒さん130名と一緒に歴史館と園内の見学をいたしました。報道による取材に応えた生徒さんからは、入所者の皆さんが歩んだ苦難の歴史への共感と、ハンセン病問題への正しい理解を周囲に広めたいという決意が示されていました。

2023（令和5）年6月

特定非営利活動法人

ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会

理事長

原 憲一



らい予防法が廃止された1996（平成8）年以降に生まれた世代に、同法が存在していた社会に生きた私たちは真に何を反省し、何を遺すことができるでしょうか。

本法人が2020（令和2）年度から取り組む長島愛生園「収容桟橋」「監房跡」の調査と設計は、個人見学の方を含めて年間1万人を超える方にご覧いただいている隔離の実相を伝える遺構の保存と活用の実現を目指すものです。そして、虚飾のない遺構を目の当たりにし、その背景にある入所者の想いを語り継ぎ、人権を軽視した政策を繰り返さないと決意し、未来に向けて行動できる人材を育成する人権学習の場としての長島のポテンシャルを最大限に高める一つの手段が、本法人による世界遺産登録運動だと私は考えております。

本書11ページに記載しておりますとおり、岡山県瀬戸内市が実施されている本法人に関するふるさと納税は、件数・金額ともに増加傾向です。ふるさと納税としてご寄附いただいている皆様には改めてお礼を申し上げるとともに、この傾向は徐々にではありますが本法人の取り組みが広がりつつあることを示していると捉えております。

ハンセン病の教訓を具体的なアクションに繋げることができる人材を育成するためには、長島の歴史と文化に関する情報を多く有する建造物や遺構、そして史跡を保存・活用しながら継承することが必要です。引き続き、皆様方からの本法人へのご支援とご指導をお願い申し上げるとともに、皆様方による全国のハンセン病療養所を訪問・見学するというアクションにも期待申し上げ、本書発行のごあいさつといたします。

法人概要

名称	特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会
英語名	Hansen's Disease Sanatoria World Heritage Promotion Council
理事長	原 憲一
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539番地（令和5年3月19日、虫明6253番地から移転）
公式サイト	https://www.hansen-wh.jp
成立年月日	2018（平成30）年1月25日
所轄庁	岡山県

定款に定める目的 この法人は、ハンセン病療養所内に存在する建造物群等を「ユネスコ世界文化遺産」として、ハンセン病回復者等が生きた証を示す資料等歴史的記録物を「ユネスコ世界の記憶」としてそれぞれ登録することを目指す。これらの取り組みを通じて、ハンセン病患者に対する隔離政策がもたらした人権侵害と地域社会への影響を検証するとともに、ハンセン病に対する偏見・差別の中にあっても力強く生き抜いて来た回復者等の営みを後世に伝えることで、世界中のハンセン病回復者等の真の名誉回復を図り、もって人類の抱える様々な偏見・差別の解消に寄与することを目的とする。

役員・顧問名簿

2023（令和5）年6月1日現在

理事長	原 憲一	R S K 山陽放送株式会社 取締役相談役
副理事長	武久 顕也	瀬戸内市長
理事	中尾 伸治	長島愛生園入所者自治会 会長
理事	屋 猛司	邑久光明園入所者自治会 会長
理事	森 和男	大島青松園入所者自治会 会長
理事	山本 典良	国立療養所長島愛生園 園長
理事	青木 美憲	国立療養所邑久光明園 園長
理事	大月 敏雄	東京大学 教授
理事	古謝 愛彦	一般社団法人ハンセンボランティアゆいの会 弁護士
理事	阿部 光希	株式会社山陽新聞社編集局報道部 部長代理
理事	三浦 智美	瀬戸内市副市長
理事	服部 靖	裳掛地区コミュニティ協議会 会長
理事	近藤 剛	ハンセン病国賠訴訟瀬戸内弁護団事務局長 弁護士
理事	境野 健太郎	工学院大学 准教授
理事	釜井 大資	事務局長兼務
監事	野田 裕司	国立療養所長島愛生園 事務部長
監事	鈴木 啓史	国立療養所邑久光明園 事務長
顧問	井上 雅雄	ハンセン病国賠訴訟瀬戸内弁護団 弁護士
顧問	西村 幸夫	國學院大学 教授 東京大学 名誉教授

※任期満了に伴い、退任した理事 平松 正臣、横山 次男（退任日：2023（令和5）年3月31日）

会員数 正会員99名（+1） 内訳 個人正会員84名 団体正会員11者 学生正会員4名

2023（令和5）年3月31日現在。（）内±は前年同期比較増減。

私たちの活動を応援してください。

ご入会・ご寄付・岡山県瀬戸内市ふるさと納税

☑ ご入会について

正会員と応援会員の2種類からお選びください。年間を通じてご入会いただけます。ご入会後には全ての会員の皆様に、年次報告書（年1回）、会報誌（年2回）、NPO主催のイベント情報（随時）を郵送いたします。多くの皆様にご入会いただけますようお願い申し上げます。

- ▶ 正会員 総会に出席し、議案への表決権を行使できる会員
- ▶ 応援会員 総会を傍聴することはできるが、議案への表決権は行使できない会員

会員種別	年会費	入会特典
個人正会員	5,000円	NPOロゴマークピンバッチと文具セット
学生正会員	2,000円	NPOロゴマークピンバッチと文具セット
団体正会員	10,000円	NPOロゴマークピンバッチと文具セット 団体・企業ロゴマークのNPOホームページへの掲載（希望団体のみ）
個人応援会員	1,000円（一口以上）	文具セット
団体応援会員	3,000円（一口以上）	文具セット

☑ ご寄付について

年間を通じて受け付けています。多くの皆様からお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

☑ ご入会及びご寄付の方法について

入会申込書や寄付申込書、送金先口座など詳細な情報はNPOホームページに掲載しています。

郵送にも対応いたしますので、ご不明な点やご要望はNPO事務局（0869-24-8872）までご連絡ください。

寄付プラットフォームSyncableでは、入会・寄付手続きと年会費・寄付金のクレジット決済（VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS、DISCOVER）をオンラインで完結することができます。ご寄付は500円から受け付けています。毎月定額寄付も選択いただけますので、ご検討ください。

<https://www.hansen-wh.jp/join/>



☑ 岡山県瀬戸内市ふるさと納税（個人版）について

岡山県瀬戸内市ふるさと納税「後世に伝えたい ハンセン病の歴史プロジェクト」を通じていただいたご寄附は、NPOの財源として活用しています。所得税・住民税の軽減措置に加えて瀬戸内市からのお礼の品もお受け取りいただけます。詳しくは岡山県瀬戸内市特設サイトをご覧ください。



<https://setouchi-cf.jp/nagashima/>

☑ 岡山県瀬戸内市ふるさと納税（企業版）について

内閣府に認定された岡山県瀬戸内市ふるさと納税（企業版）「ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクト」へいただいたご寄附は、NPOの財源として活用しています。瀬戸内市外に本店が所在する企業等によるご寄附額の最大約9割が、法人関係税にて優遇されます。詳しくは瀬戸内市秘書広報課（0869-24-7095）までお問い合わせください。



<https://setouchicf.jp/corporates/>



啓発グッズ

オンラインショップBASEに出店し、NPO入会特典の啓発グッズを販売しています。オリジナルデザインのグッズを契機として、多くの皆様に私どもの取り組みへの共感の輪が広がることを期待します。

決済にはクレジットカード（VISA、MASTER、AMEX、JCB）及びAmazon Payがご利用いただけます。

<https://hansenwh.base.shop/>



陶製「長島愛生園 十坪住宅貯金箱リバイバル版」

長島愛生園歴史館に2つ残る十坪住宅貯金箱は、戦前に長島愛生園の窯で焼かれた愛生焼です。愛生園参観人へのお土産や、「十坪住宅運動」への寄付促進、寄付者への記念品として使用されていました。

岡山県瀬戸内市とNPOは、2019（令和元）年に寒風陶芸会館（瀬戸内市牛窓町）と長島愛生園「内白間窯」、瀬戸内市内在住のクリエイターの協力を得て貯金箱リバイバル版の量産化の枠組みを構築し、瀬戸内市ふるさと納税返礼品（寄附額10万円以上）として登録しています。返礼品としてお申込みいただきますと、陶芸会館スタッフが一つ一つ丁寧に制作・焼成し、お手元にお届けします。個々に異なる焼物の表情をお楽しみいただくとともに、末永くご愛用いただくことで長島愛生園と十坪住宅の歴史を語り継いでいただけることを願っています。



サイズ 幅約18cm/奥行約11cm/高さ約15cm
重さ約1.6kg



制作過程とパンフレット（PDF）
<https://www.hansen-wh.jp/news/288/>



お問い合わせ先 寒風陶芸会館（公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団）
TEL.0869-34-5680 E-mail.info@sabukaze.com



Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL

2022(令和4年度)

事業報告

BUSINESS REPORT
2022 FY

事業名/長島愛生園「収容棧橋」保存活用整備工事実施設計策定事業

事業概要

2020（令和2）年度、国立療養所長島愛生園及び邑久光明園内の世界文化遺産構成要素候補の内、保存管理の観点からとりわけ倒壊・崩壊の危機に直面している歴史的建造物等4物件の保存修復・整備活用の手法を検討するための基礎調査を実施しました。

2021（令和3）年度にはこれら4物件の内、その変遷の過程を示す文献史料が豊富に残されている長島愛生園「収容棧橋」「監房跡」について、その価値の整理を行い、事業工程や積算工事費、施工計画を含む保存修復・整備活用のための基本計画・基本設計を策定しました。

そして昨年2022（令和4）年度、「収容棧橋」周辺の詳細な地盤調査と設計と状況に関する関係機関との協議を実施し、整備工事の発注が可能となる実施設計の策定を予定していましたが、諸般の事情により海中地盤調査が実施できませんでした。そこで、陸地での地盤調査を実施し、一部が倒壊している「収容棧橋」に至る石積護岸に限定した実施設計を策定しました。あわせて「収容棧橋」「旧収容所」「監房跡」が属する内白間エリアの広域的な測量を行い、残された古図（昭和13年）との重ね合わせを実施し、内白間エリアの地形や海岸線の変遷を調査しました。

「監房跡」については、引き続き2021（令和3）度に設置した水位計による2つの房内に滞留する雨水の観測データを採取し、分析しました。

1. 実施設計の対象とした歴史的建造物 長島愛生園「収容棧橋」（1939年築）



長島愛生園歴史館蔵

2. 陸地でのボーリング調査（2か所）及び平板載荷試験（実施日 10月19日～21日）



3. 内白間エリアの測量調査（実施日 11月9日・10日）



4. 「監房跡」水位調査（実施日 4月21日、9月26日、12月7日）



＜事業委託先＞

株式会社デザイン・フォー・ヘリテージ（世田谷区）

※「収容棧橋」に至る石積護岸の実施設計、内白間エリア測量及び「監房跡」水位観測・分析の詳細は、本書48ページ以降をご覧ください。

5. 本事業に係る活動計算書

単位：千円

経常収益		経常費用	
瀬戸内市補助金（地方創生）	3,100	業務委託料	6,292
瀬戸内市補助金（応援基金）	2,901	租税公課	10
会費、寄附金等法人自主財源	303	支払手数料	2
合計	6,304	合計	6,304

事業名/登録に向けたロードマップ進捗管理・学術調査事業

事業概要

本法人ロードマップ委員会（委員長 田村朋久長島愛生園歴史館主任学芸員）は、2019（平成31）年3月に策定した世界遺産登録に向けたロードマップを2022（令和4）年度～2024（令和6）年度版に改定し、その進捗管理と学術調査を実施しました。

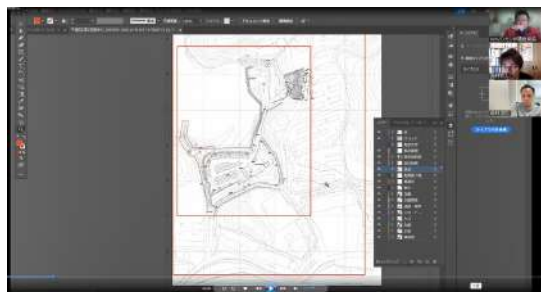
長島愛生園の国指定史跡に向けた取り組みとして、その歴史的・学術的価値の取りまとめを目指した悉皆調査を実施しました。また、植生・植栽調査の一環として愛生園内のドローンによる空撮も実施しました。

昨年12月23日には厚生労働省「歴史的建造物保存等検討会」が開催され、長島愛生園「歴史的建造物等保存検討ワーキング・グループ」（WG）とロードマップ委員会が合同で会議を開催し、議論を経て提出していた「長島愛生園歴史的建造物保存対象リスト」43物件の中から、4物件に対しての保存に向けた緊急保全措置を講ずる措置が承認されました。

1. ロードマップ委員会の開催

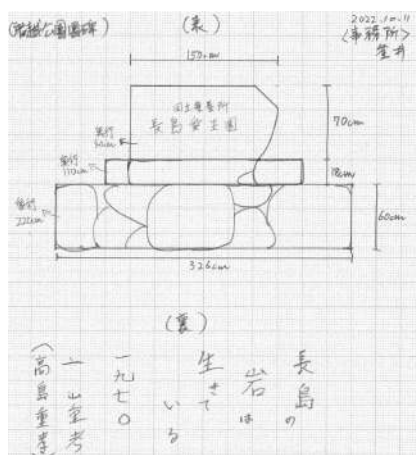
- 第1回 5月19日 長島愛生園 日出会館
- 第2回 11月2日 長島愛生園 日出会館
- 第3回 2月15日 長島愛生園 愛生会館

構成員 本書21ページのとおり。



オンライン（zoom）での事前協議の様子

2. 長島愛生園 国指定史跡に向けた悉皆調査（実施期間 9月～3月）



ドローンによる空撮

※調査の詳細は、本書73ページ以降に記載しています。本書別紙①②③と併せてご覧ください。

3. 保存に向けた緊急保全措置を講ずることが承認された長島愛生園4物件



十坪住宅「第四千代田」（1933年築）



十坪住宅「梅ヶ香」（1937年築）



新良田治療分室（1957年築）



邑久高等学校新良田教室特別教室（1955年築）

4. 調査報告書の作成及び提出

2022（令和4）年度に実施した学術調査を報告書としてまとめ、長島愛生園及び入所者自治会に提出しました。長島愛生園の皆さまによる議論の際に参考いただけますと幸いです。

5. 本事業に係る活動計算書

単位：千円

経常収益		経常費用	
瀬戸内市補助金（応援基金）	144	業務委託料	66
		消耗品費	38
		委員報酬、旅費交通費等	40
合計	144	合計	144

定款の事業名/その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

1. 普及啓発及び会員獲得を目的とした理事等による講演会事業



昨年度までに引き続き、中学生及び成人の方を対象とした授業や講演会、大学生及び研究者による研究会にお招きいただきました。（合計7回、参加者合計100名）中学生を対象とした授業ではNPOのロゴマークの意味を生徒自身が考えることを入り口とし、ハンセン病隔離政策の歴史とハンセン病問題を学習いただいております。10名以上の参加者を対象に無料で伺います。ご希望に応じた内容に可能な限り対応いたしますので、詳細は事務局（0869-24-8872）までお問い合わせください。

2. 啓発グッズの販売事業（BASE及び岡山県瀬戸内市ふるさと納税返礼品）

NPOへご入会いただいた際の特典である啓発グッズは、オンラインショップBASE（本書4ページ参照）でお買い求めいただけます。

ご寄附額に応じた瀬戸内市ふるさと納税返礼品として、この啓発品に加えてNPO個人正会員権もご用意しております。

所得税や住民税が軽減されるふるさと納税制度を通じて、私どもの活動をご支援くださいますようお願いするとともに、ふるさと納税をご検討中のお知り合いの皆様にも私どもの取り組みをお知らせいただけますと幸いです。

ふるさと納税制度全般につきましては事務局（0869-24-8872）までお問合せください。
（岡山県瀬戸内市ふるさと納税特設サイト）<https://setouchi-cf.jp/nagashima/>



3. 会報誌及び年次報告書の作成・配布事業



NPO会報誌「未来につなげたい、大切な記憶」を11月と3月に、前年度の年次報告書を6月にそれぞれ作成・印刷し、会員の皆様とNPOにご寄附いただいた皆さまに送付しました。

2020（令和2）年度からは、これらを前年度までに瀬戸内市ふるさと納税を通じてご支援いただいた皆様へも瀬戸内市秘書広報課からお送りし、NPO会員等以外の皆さまにもNPO事業の進捗状況に触れていただくとともに、ご寄附の使途に関する説明責任を果たせるよう努めています。

次ページの表のとおり、瀬戸内市ふるさと納税（個人版）を通じてご支援いただいている件数はここ数年増加傾向を示しており、これら印刷物の発行部数も比例して増加の一途をたどっております。心から感謝申し上げます。

これまでNPOが作成・印刷した冊子等のバックナンバーは、ホームページにPDFでアップしています。印刷物をご希望の場合には、事務局（0869-24-8872）までご連絡ください。在庫の範囲内で配布・送付させていただきます。



（バックナンバー一覧）

<https://www.hansen-wh.jp/report/>

岡山県瀬戸内市ふるさと納税実績（本法人事業に関する数値を抜粋）

金額単位：千円

年度	個人版		企業版	
	件数	金額	件数	金額
H29(2017)	142	5,235	地域再生計画認定前	
H30(2018)	105	2,589	3	3,800
R元(2019)	398	8,140	1	3,000
R2(2020)	204	4,328	2	5,000
R3(2021)	446	7,485	3	5,300
R4(2022)	614	16,046	3	3,100
合計	1,909	43,823	12	20,200

（参考資料）「ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山」進捗状況表

※H30(2018)年度の個人版には、歴史的建造物の保存修復・整備活用に向けた基礎的調査クラウド・ファンディング分を含みます。

※R元(2019)年度の個人版には、歴史的記録物のユネスコ世界の記憶（世界記憶遺産）登録を目指したクラウド・ファンディング分を含みます。

※上記実績額から必要経費が控除された後の一部が瀬戸内市により補助金として予算化され、本法人の活動費を支援いただいています。

4. 本事業に係る活動計算書

単位：千円

経常収益		経常費用	
瀬戸内市補助金（応援基金）	493	通信運搬費	266
		印刷製本費	214
		旅費交通費、啓発品原価ほか	13
合計	493	合計	493

令和4年度通常社員総会（定款第25条、特定非営利活動促進法第14条の2）

審議事項として定款の変更（主たる事務所の邑久光明園内から長島愛生園への移転）が上程され、満場一致で可決されました。

日時 令和5年3月19日（日）午後1時30分～2時32分

場所 国立療養所長島愛生園 愛生会館

社員総数 98者

出席者 59者（うち、書面評決書等提出者41者）



〔寄稿〕

泊まる・学ぶ・感じる

長島愛生園歴史館職員 玉田 美紗

2023年4月4日、長島愛生園に社会交流会館（愛称：むつみ交流館）が、開館しました。

この、むつみ交流館は、宿泊研修施設です。宿泊できるということは、夜の長島を感じることが可能になったということです。

日が暮れ、静かな長島に響く盲導ラジオの音や海の音。そして、昼間の海とは違い、社会との隔たりを表す真っ暗な海。そうした時間を過ごし、その日学んだことに思いを馳せ、眠りにつく。日帰りの研修では感じる事が出来ない感覚を、体験していただけるようになりました。

私が入職初年度に任された仕事のひとつが毎週水曜日に行われる、むつみ交流館の行程会議への参加でした。工事の進捗状況を業者さん同士が把握するための会議です。行程会議が終わると分科会といって、部材や色決め等をする会議も設けられました。

むつみ交流館は元々病棟でした。2018年5月末まで、ハンセン病による後遺症を抱えた入所者のケアを行っていた場所です。改修を進めていくにあたって、病院っぽさを無くすために、分科会での細かな決め事は頭を使うことばかりでした。外壁塗装・壁紙・手すり・プロジェクターなどなど色や形状の選定は多岐に及び、業者さんと話を詰めていく作業は膨大でした。一軒家を建てるのとわけが違うため、水曜日は頭の中が散らかる日でした。そのため、引き渡しが終わったときにはなんとも言えぬ達成感がありました。（この達成感の後、備品の選定に更に苦労するとは思ってもいませんでしたが、今ではいい思い出です…。）

せっかくなので、このスペースをお借りして、簡単にむつみ交流館内覧会を行ってみようと思います。

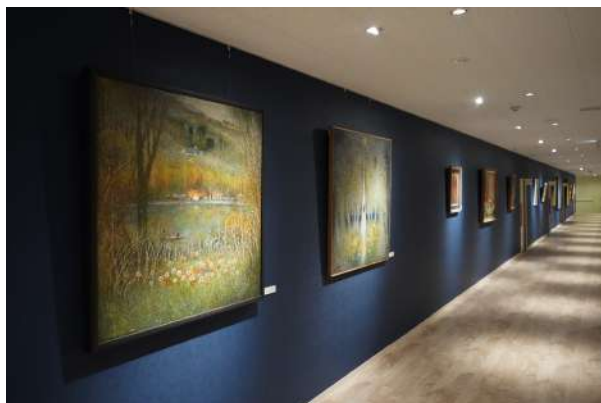
1階には 管理室 / 研修室 / 会議室 / 居室101～104号室 があります。

研修室にはハンセン病にまつわる本がたくさん並び、むつみ交流館が開いているときなら誰でも見る事が可能です。



研修室1

会議室へ続く廊下壁面には入所者の絵画がずらりと並んでいます。青い壁に絵画が映えギャラリーのようです。



廊下壁面

会議室は大中小とあり、大会議室・中会議室は語り部講話や学芸員講話の時、活躍してくれています。



大会議室



むつみ交流館外観

2階には 食堂 / 浴室 / 洗濯洗面室 / 居室201
～219号室があります。



食堂



8人部屋

南側のお部屋からは海が見え、北側のお部屋からは緑や花を望むことができます。
その他のお部屋は是非、現地にいらっしゃった際にご覧ください。

2023年4月から実際に運用を始めてみて、8月に宿泊を希望される団体が多いことが分かりました。今年の夏はたくさんの方に利用していただだけそうです。

（宿泊研修を行うには）

- STEP①** 予約状況の確認
(メールもしくはお電話にて空き状況をご確認ください。)
- STEP②** 仮予約
- STEP③** お申込み
- STEP④** 打ち合わせ
(行程の詳細を決めていきます。)
- STEP⑤** 来館

という手順を踏んでいただきます。
詳細はホームページをご確認ください。

宿泊研修については私たちスタッフも初めてのことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、たくさんの可能性を秘めている施設だと日々感じております。

最後に、「むつみ交流館」という名前の通り、私はこの場所が入所者の想いや、来園した人の感情が自然に交わる場所であってほしい。そう願っています。

（お問い合わせ先）

電話：0869-25-2212（内線：541）

メール：info@aisei-rekishikan.jp

URL：https://mutsumi0.webnode.jp/

むつみ交流館
ホームページQRコード



NPO事務所移転のお知らせ

本年3月19日開催の令和4年度通常社員総会を経て、事務所を 邑久光明園内から長島愛生園内に移転いたしました。邑久光明園の皆様には2018（平成30）年4月3日の旧事務所開設以来、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

新たにお借りしております長島愛生園「旧売店」は、1930（昭和5）年12月竣工の歴史的建造物です。愛生園内では同年1年竣工の「園長官舎」（国登録有形文化財）に次いで歴史のある木造建築で、入所者が日常的に利用してきた旧有菌（患者）地帯内では最も古い木造建物です。

1931（昭和6）年3月27日に「開拓患者」85名が愛生園に上陸した翌月18日には長島愛生園慰安会事業として売店が発足し、1948（昭和23）年3月までは園内通用票が利用されました。愛生園と入所者の歴史・文化を今に伝える「旧売店」への皆さまのお越しをお待ちしています。



竣工前後と推定される「売店」周辺の写真
（長島愛生園歴史館蔵）



NPOの黄色いノボリを掲げた「旧売店」

「長島からの風」開催報告

会場 RSK本社（岡山市北区天神町9-24）

会期 2023（令和5）年6月7日（水）～26日（月）

主催 RSK山陽放送

協力 公益財団法人長湊会、国立療養所長島愛生園、
長島愛生園入所者自治会、長島愛生園歴史館

上映 「続もう一つの橋」（1988年）、「生きとつ
映像 た証」（2002年）、メッセージ「隔離された
法廷 ～ハンセン病 司法の人権侵害～」（2016年）

6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」にあわせて、長島愛生園が実施しているハンセン病問題啓発展示会の展示作品と、長島愛生園歴史館所蔵の園内通用票等の資料が展示されました。会期中には、長島愛生園入所者自治会の中尾伸治会長による講演と歴史館学芸員田村朋久さんによるトーク等に加えて、RSK山陽放送のドキュメンタリー映像が上映されました。



中尾会長による講演



設営の様子（展示の最終チェック）



Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL

2022(令和4年度)

決算報告

FINANTIAL REPORT
2022 FY

財務諸表の注記

令和5年 3月31日 現在

重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は先入先出法によっています。

(2)固定資産の減価償却の方法

間接法（ただし、ソフトウェア等無形固定資産は直接法）

有形固定資産：定率法（ただし、建物、建物附属設備及び構築物は定額法）

(3)消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

貸借対照表

[税込](単位:円)

令和5年 3月31日 現在

《資産の部》			
流動資産			
(現金・預金)			
現金	15,000		
普通預金（ゆうちょ）	11,350,937		
普通預金（ゆうちょ振替）	479,778		
普通預金（中銀）	331,224		
普通預金（備日信）	18,003		
現金・預金 計	12,194,942		
(棚卸資産)			
啓発品	109,483		
棚卸資産 計	109,483		
流動資産合計		12,304,425	
固定資産			
(有形固定資産)			
什器備品	121,824		
什器備品減価償却累計額	△121,823		
有形固定資産 計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			12,304,426
《負債の部》			
流動負債			
前受正会員年会費	35,000		
前受応援会員年会費	7,000		
流動負債合計		42,000	
負債合計			42,000
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産	1,907,180		
当期正味財産増減額	10,355,246		
正味財産合計			12,262,426
負債及び正味財産合計			12,304,426

活動計算書

[税込](単位:円)
令和5年 3月31日 現在

経常収益

〔受取会費〕		
正会員受取会費	399,291	
応援会員受取会費	73,000	
正会員受取会費（瀬戸内市補助金）	<u>55,000</u>	527,291
〔受取寄付金〕		
受取一般寄付金	10,249,108	
長島両園入所者自治会寄附金	<u>3,000,000</u>	13,249,108
〔受取助成金等〕		
受取瀬戸内市補助金（応援基金）	4,675,000	
受取瀬戸内市補助金（地方創生）	<u>3,100,000</u>	7,775,000
〔事業収益〕		
その他事業収益		27,101
〔その他収益〕		
受取利息・雑収益		35,038
経常収益 計		<u>21,613,538</u>

経常費用

〔事業費〕		
臨時雇賃金（事業）	214,693	
臨時雇賃金（啓発品事業）	825	
業務委託費（事業）	6,358,000	
印刷製本費(事業)	213,230	
旅費交通費(事業)	11,070	
通信運搬費(事業)	265,780	
瀬戸内市派遣職員負担金（事業）	2,500,000	
委員報酬（事業）	30,000	
その他経費（事業）	55,272	
啓発品経費（事業）	<u>5,106</u>	
事業費 計		<u>9,653,976</u>
〔管理費〕		
通勤費	153,000	
臨時雇賃金・法定福利費	620,424	
通信運搬費	200,019	
瀬戸内市派遣職員負担金	500,000	
広告宣伝費	20,000	
その他経費	<u>110,873</u>	
管理費 計		<u>1,604,316</u>
経常費用 計		<u>11,258,292</u>
当期経常増減額		<u>10,355,246</u>

経常外費用

経常外収益 計 0

経常外費用

経常外費用 計 0

税引前当期正味財産増減額	<u>10,355,246</u>
当期正味財産増減額	10,355,246
前期繰越正味財産額	<u>1,907,180</u>
次期繰越正味財産額	<u>12,262,426</u>

ご寄付いただいた皆様

※2022年4月1日～2023年3月31日領収分。

ご了承くださいました方のみ、ご芳名と金額を公開いたします。

ご芳名	金額
本幡 照夫 様	9,000円
藤澤 祥子 様	10,000円
藤岳 尋幸 様	8,000円
岡山県曹洞宗青年会 様	61,929円
石丸 幸子 様	2,300円
小川 秀幸 様	10,000円
古林 海月 様	35,297円
中尾 伸治 様	10,000,000円
釜井 大資 様	62,000円
匿名 様（合計3名）	
合計	12者 10,249,108円

応援会員の皆様

※2022年4月1日～2023年3月31日領収分。

種別	金額
個人応援会員 37名	64,000円
団体応援会員 3者	9,000円
合計 40者	73,000円

瀬戸内市企業版ふるさと納税

（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）でご支援いただいた企業様
プロジェクト名：ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクト

※2022年4月1日～2023年3月31日瀬戸内市領収分。ご了承くださいました範囲内で公開いたします。
※頂戴した寄附全額を瀬戸内市補助金（地方創生）として受け入れ、事業費に支出いたしました。
心からお礼申し上げます。

ご企業名	所在地	金額
医療法人社団 岡山純心会 様	岡山県岡山市	2,000,000円
株式会社 両備システムズ 様	岡山県岡山市	1,000,000円
合同会社 生活習慣病予防研究センター 様		